



令和4年度

学校だより

和

合い言葉  
見通し・振り返り・チャレンジ

旭川市立忠和中学校  
第4号

7月22日発行

## 「1学期の頑張りを生かし、前進する夏休みを」



お陰様で、本日、1学期終業式を迎えることができました。保護者や地域の皆様におかれましては、子どもたちのために日々学校を支えてくださり、心からお礼を申し上げます。

この1学期、学校生活の中で子供たちの様々な表情を見てきました。朝読書や授業に向き合う真剣な眼差し、部活動で見せる精悍さ、友達との話しに弾む楽しげな笑顔。その一方で、テスト返却時の不安な面持ちや、思い通りにならない不機嫌な顔等々です。それぞれの表情から察する心の中は誰にもわかりませんが、「何かに挑戦している」、「何かをやり遂げた」、「何かにぶつかった」、そういった「何か」は、貴重な経験であり、その経験から感じ取り、気づき、考え、次の一步を踏み出すことの大切さを、学校生活の中で学んでくれているのだと思います。

また、この1学期、お互いに相手を思いやり、助け合いながら学校生活を送ることの大切さや、優しく居心地のよい学級、学校を目指して、生徒会本部役員のリリーダシップの下、自分たちで行動する「忠和中生」を頼もしく思いました。是非、2学期も、「チーム忠和」で生徒と教師が一丸となって歩んでほしいです。

さて、明日からの夏休みは、次のステップに進む時期でもあります。

1・2年生は学習面では基礎を固め、部活動では新人大会に向けて新たな目標を設定し、頑張ってください。また、3年生は進路実現に向けての「心の準備(=覚悟)」をこの夏に始めてください。その際には、通知表をもとに1学期を振り返って、頑張った自分を認め、自信を高めることを大切にしてください。また、目標を達成できなかったところ(教科等)は、頑張れきれなかった自分の弱さ(改善点)に気づき、ステップ・アップしていくための新たな計画を立てて、この夏休みに前進してください。

目標を達成するには、前へ進もうとする「勇気」と「あきらめない心」を持ち続け、本校の重点目標に掲げる「挑戦」を続けることが大切です。このような行動様式は、高校生になっても、社会人になっても生かすことのできる、貴重な財産となります。

令和4年度の夏休みは、コロナウイルス感染症対策は気を抜かずに行い、自分らしく前進する有意義な夏休みを過ごしてください。夏休みのライバルは、自分自身です。

2学期の始業式には、一回り頼もしくなった皆さんとの再会を楽しみしています。

## ～中連旭川夏季大会・上川管内代表決定戦～

6月下旬の中連旭川夏季大会、7月上旬に開催された上川管内代表決定戦では、3年生が中心となり、全ての競技種目で忠和中生のめざましい躍進がありました。

残念ながら、市内大会で惜敗した部、上川管内大会、全道大会と駒を進めた部など結果は違っても、それぞれの競技種目において、輝きを放つ子どもたちの表情がありました。特に、最後の最後まであきらめない気迫のこもったプレー(皆さんの一蹴・一球・一本に全身全霊をかけている姿)に感動しました。また、喜びに満ち溢れた光景や悔しさに涙する光景は、それまで仲間と共に頑張ってきた日々の練習の成果と努力の象徴であったように思えてなりません。

保護者の皆様には、部活動に対するご支援とご声援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 中体連市内大会の結果

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、「市内中体連体育大会」が6月24日～27日、更にその上位大会に当たる「上川代表決定戦」が7月8日～9日に各会場で開催されました。保護者の皆様、応援ありがとうございました。

## ○女子バレーボール部

(予選ブロック)  
対 春光台中 (2-1) 勝利  
(決勝トーナメント)  
対 六合中 (2-0) 勝利  
(準々決勝)  
対 神居中 (0-2) 敗退



## ○男子ソフトテニス部

<団体戦> (第3位)  
予選ブロック 2勝1敗 2位通過  
(準々決勝)  
対 永山中 (2-1) 勝利  
(準決勝)  
対 附属中 (0-3) 敗退



## ○男子バスケットボール部

(1回戦)  
対 東明中 (62-51) 勝利  
(準々決勝)  
対 北門中 (28-68) 敗退



## ○女子バスケットボール部

(準々決勝)  
対 愛宕中 (45-52) 敗退



## ○サッカー部

(1回戦)  
対 愛宕中 (0-2) 敗退



## ○野球部

(1回戦)  
対 春光台中 (4-10) 敗退



## ○男子バドミントン部

<団体戦> (第3位)  
(1回戦) 対 東光中 (3-0) 勝利  
(準々決勝) 対 東鷹栖中 (2-1) 勝利  
(準決勝) 対 東明中 (1-2) 敗退  
(3セット決定戦) 対 北門中 (0-2) 敗退  
<個人戦シングルス>  
第2位 小林陵平  
第3位 高田晋司  
<個人戦ダブルス>  
第9位 小関・花田ペア  
鈴木・近藤ペア



## ○女子バドミントン部

<団体戦> (第2位)  
(1回戦) 対 東光中 (2-1) 勝利  
(準々決勝) 対 北門中 (2-1) 勝利  
(準決勝) 対 東明中 (1-2) 敗退  
(3セット決定戦) 対 愛宕中 (2-1) 勝利  
<個人戦シングルス>  
第1位 鈴木穂乃花  
第9位 本田ひなの  
<個人戦ダブルス>  
第5位 福田・清水ペア



# 中体連上川管内代表決定戦

## ○剣道

<個人戦> 鈴木劉備滄  
1回戦 対 東光中 (X) 敗退



## ○男子ソフトテニス部 (予選リーグ敗退)

団体戦：0勝3敗 旭川市花咲テニスコート  
対 当麻中 (0-3) 敗戦  
対 東明中 (1-2) 敗戦  
対 剣淵中 (0-3) 敗戦



## ○男子バドミントン部 旭川市夢りんご体育館

<団体戦> (第3位)  
(1回戦) 対 名寄東中 (2-1) 勝利  
(準決勝) 対 東明中 (0-2) 敗退  
<個人戦シングルス>  
小林陵平 (3位)、高田晋司 (ベスト8)  
<個人戦ダブルス>  
近藤・鈴木ペア (1回戦敗退)



## ○女子バドミントン部 旭川市夢りんご体育館

<団体戦> (第2位)  
(準決勝) 対 東鷹栖中 (2-1) 勝利  
(決勝) 対 東明中 (1-2) 敗退  
<個人戦シングルス>  
準優勝：鈴木穂乃花、本田ひなの (ベスト8)  
<個人戦ダブルス>  
福田・清水ペア (2回戦敗退)



## ●中体連全道大会 出場部活動●

- 男子バドミントン部
  - 個人戦シングルス～小林 陵平選手
- 女子バドミントン部
  - 団体戦
  - 個人戦シングルス～鈴木 穂乃花選手 (7月27日～29日：旭川市大雪アリーナ)



# 中体連体育大会の一コマ



7月20日には、部活動報告会の後、生徒会が主体となり「いじめを考える」集会が行われました。生徒会長の山本さんから、「広い心でお互いを理解し、温かい忠和中を創っていきましょう。」と呼びかけがありました。



7月12日の参観日には、多くの保護者に参加いただきありがとうございました。第3学年は、参観授業後に学年PTAが主催となり、「親子レク」を行いました。役員の皆様には、大変お世話になりました。

- 【7月】  
 25日(月)～27日(水) 夏季学習会  
 26日(火) 中連生活部夏季研修会(生徒会)
- 【8月】  
 10日(水)  
 12日(金)  
 15日(月) } 学校閉庁日(3日間)
- 
- 22日(月) 2学期始業式  
 23日(火) 2年生宿泊研修①  
 教育実習開始(～9/16まで)  
 24日(水) 2年生宿泊研修②  
 25日(木) 2年生回復休暇  
 26日(金) 3年生学力テスト

## 7月・8月行事予定

夏季休業中の緊急連絡先  
 学級担任：連絡網で確認して下さい  
 忠和中学校：61-5300

学校教育目標

◇ 広い心 豊かな知性 健やかな体  
 ～知・徳・体の調和のとれた成長と、意欲的な学校生活～

校訓

広く 豊かに 健やかで

目指す生徒像

- 主体的に学び、よく考える生徒
- 豊かな人生を歩もうとする生徒
- 生命を尊重し、健康に生活する生徒

目指す学校像

- 生徒一人一人の居場所があり、個性が発揮できる学校
- 生徒と教師が喜びや感動、痛みや苦しみ分かち合える学校
- 地域から愛され、信頼される学校

目指す教師像

- 研究と実践に励み、授業力を身に付けた教師
- 生徒と向き合い、個性を引き出し、育てる教師
- 互いを認め、他者と関わり、協働できる教師

今年度の重点目標

主体的に学び、高め合い、挑戦し続ける子どもの育成

～ 『見通し』と『振り返り』、『チャレンジ』を合い言葉に ～

「広い心」

「オール忠和」

- ★ 自他を尊重する「広い心」  
 → 自己肯定感、人権教育、いじめの未然防止、情報モラル等
- ★ 「オール忠和」としての連携・協働  
 → 生徒、教師、保護者、小学校、地域との目標や対応策等の共有

育成したい  
 資質・能力

知識・技能を身に付け、主体的に課題解決に活用する力や挑戦する人間性（知）  
 互いを認め合う広い心や、共に支え励まし合い協働して取り組む力（徳）  
 心身の状況を振り返り、見通しをもち体力の向上や健康増進に取り組む力（体）

学校の新しい生活様式

「自他を尊重し、個と集団が共に輝ける温かな学校づくり」～忠和スタイル

学びの保障

- 「チャレンジ」と「見通し、振り返り」を重視した教育活動
- ◎新学習指導要領の着実な実施
- 感染症対策を徹底しての学校行事やICTの積極的な活用
- ◎生徒の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現

心のケア

- 生徒の心身の健康状況の把握（健康・生活チェックシートの継続）
- 差別や偏見のない行動・思いやり（広い心の忠和スタイル）
- 教育相談、教科相談、スクールカウンセラーの活用など相談体制の充実

感染防止対策

- 基本的な感染症対策  
 ・手洗い、マスクの着用
- 3密を避ける対策  
 ・換気の徹底と生徒の感染対策意識の高揚
- ・生徒会活動等を中核とした自主的・実践的な取組等

保護者

1学期の保護者や地域の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。  
 夏休みも子供たちの成長のために、何卒よろしく願いいたします。

地域